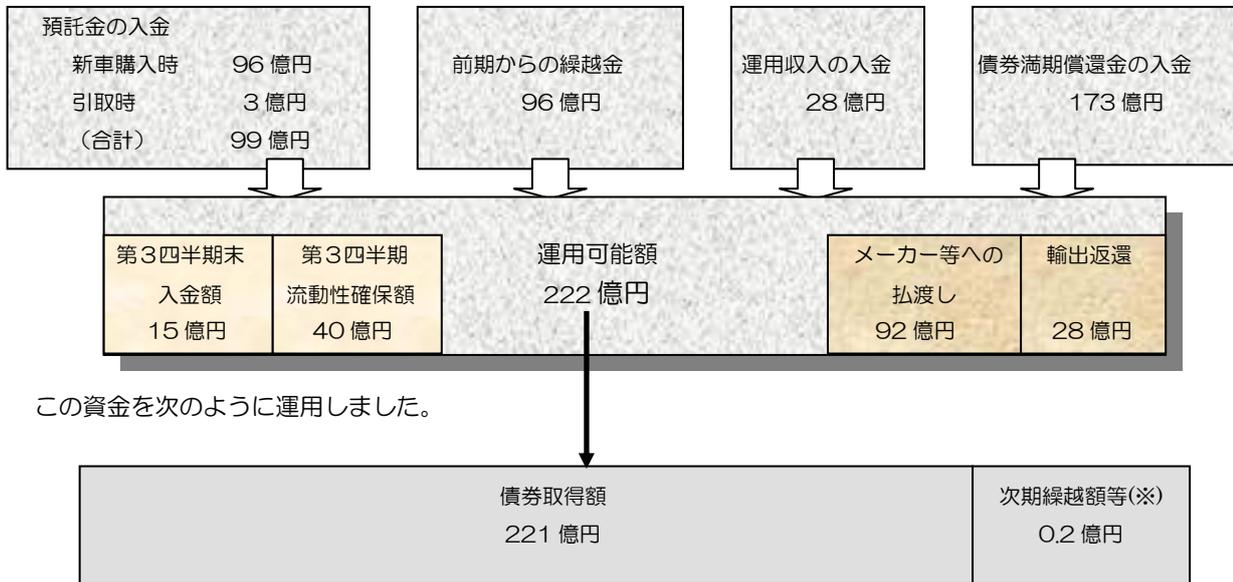


平成22年度第3四半期（平成22年10月～平成22年12月）
再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第40回（平成23年3月9日開催）資料6-1」をご参照ください。

- 平成22年度第3四半期（平成22年10月から平成22年12月末まで）に資金管理人の口座に入金となった預託金額は99億円でした。これに前期からの繰越金96億円（前期末入金56億円、流動性確保額等40億円）、運用収入28億円及び債券満期償還金173億円を加え、メーカー等へ払渡した金額92億円、輸出返還の金額28億円、第3四半期末の入金15億円及び第3四半期流動性確保額40億円を差引いた222億円が運用可能な金額でした。



この資金を次のように運用しました。

(※) 次期繰越額等0.2億円。

次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。

支払経過利息とは、債券を購入するとき売りに支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

この結果、平成22年12月末の保有債券の残高・平成22年度における新規取得債券（平成22年4月から平成22年12月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

償還年度	年限	保有債券簿価残高	構成比	債券種別	新規取得額	構成比 (A)	年度計画 (B)	(A) - (B)
～平成23年度	1以下	1,022億円	—	国債	553億円	74.6%	74.6%	0.0%
平成24年度	2	808億円	11.3%	政府保証債	70億円	9.5%	9.5%	0.0%
平成25年度	3	803億円	11.2%	格付け制限あり債	118億円	15.9%	15.9%	0.0%
平成26年度	4	802億円	11.2%	合計	742億円	100.0%	100.0%	
平成27年度	5	802億円	11.2%					
平成28年度	6	804億円	11.2%					
平成29年度	7	805億円	11.2%					
平成30年度	8	801億円	11.2%					
平成31年度	9	802億円	11.2%					
平成32年度	10	731億円	10.2%					
合計		8,181億円	100.0%					

- 第3四半期に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものになっています。

実績最終利回り (A)	評価指標利回り (B)	(A) - (B)
1.12%	0.95%	0.17%

※注 実績最終利回りは、第3四半期に取得した債券の加重平均利回りです。

- 保有債券全体の最終利回りの推移は次のようになっています。

平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年12月末
0.77%	0.90%	1.15%	1.24%	1.32%	1.37%	1.37%

(注) 合計が一致しないのは四捨五入のためです。